

# 育桜会だより

## 山あり谷あり

学校長 松田 孝史



私は健康維持という実益を兼ねて自転車に乗ることを趣味としています。50～60kmくらいの距離ならば問題なく走れます。先日、少し思い切って琵琶湖まで往復しました。その際には京都と大津の間にある逢坂峠を越えねばなりません。ロードバイクは平坦路を

走る分にはたいへん快適な乗り物ですが、長い坂道となると、それは突然厳しい行となる乗り物です。

でも長い上りの後には、それに見合つた上りが待っている、ということが繰り返されます。

しんどかった仕事をやっと乗り越えて、しばらくの間うまく回っていました。それで気を抜いたこと。

心地よさに思いを馳せて、遭遇する困難を前向きに乗り越えていければと思います。

「人体600万年史」という本を読みました。人類の進化は文明や生活の急劇な変化に適応できずに肥満や糖尿病、近视など様々な諸問題を引き起こしているそうです。

私もデスクワークが長く、肩こりがひどくなりました。先日、フェンス際にマリーゴールドの種を蒔きました。雑草を抜いたり水をやったりする作業が、心と体を癒やしてくれました。

今年度までは奈良教育大学におりました。皆さんとの関わりを少しでも多く持つことができればとても嬉しいです！

昨年度までは奈良教育大学におりました。皆さんとの関わりを少しでも多く持つことができればとても嬉しいです！

今年度は保護者の観戦工場復帰となります。

今年度は、雨の心配もしてしまったが、ありがたいことに天候にも恵まれ当日を迎えることが出来ました。

今年度は保護者の観戦工場復帰となります。

今年度より音楽科を担当します、平尾麻里子と申します。音楽は、人の心を動かす強いパワーを持っています。

皆さんに音楽の楽しさ、美しさ、面白さを存分に味わっていただけます。精一杯頑張りたいと思います。

## 臨機応変に！

副校长 奥原 牧



新年度が始まって3ヶ月余り、新型コロナワイルスの感染拡大状況がやっと落ち着いてきました。専門家によると実効再生産数と呼ばれる数値が「1」を切ると感染拡大が終息の方向に向かっ

ています。この2年と少しの間、コロナ禍でマスクが外せなくなったり、行事がなくなりました。授業がなくなりました。学校生活が大きく変わっていました。保護者としての活動も。

この2年と少しの間、取り組み、チームワーク、競技を盛り上げるアーナウンス、仲間からの声援、保護者からの声援：戻ってきたのかなあと思いました。子どもたちに

## 附中でかけがえのない体験を

育桜会会長 朝熊 仁司



できました。一生懸命なしか体験できないこと、大人になつてからではできないこと、存分に体験してほしい。学校でも家で。様々な体験をすることがあります。いつぱい体験して、その時感じ

ます。一年間よろしくお願いします。

この2年と少しの間、取り組み、チームワーク、競技を盛り上げるアーナウンス、仲間からの声援：戻ってきたのかなあと思いました。子どもたちに

きく変わっていました。保護者としての活動も。

この2年と少しの間、取り組み、チームワーク、競技を盛り上げるアーナウンス、仲間からの声援：戻ってきたのかなあと思いました。子どもたちに

きく変わっていました。保護者としての活動も。

この2年と少しの間、取り組み、チームワーク、競技を盛り上げるアーナウンス、仲間からの声援：戻ってきたのかなあと思いました。子どもたちに

## 第114号

令和4年7月19日

- 発行 ●奈良教育大学附属中学校 育桜会
- 編集 ●広報部
- 印刷 ●(有)山田印刷

## 主幹教諭挨拶

主幹教諭 有馬 一彦



## 全力疾走！スポーツディ開催！



